西日本新聞（2018年4月4日付け）に掲載されました

親の安らぎのため寄り添う

おおいた人模様

不登校を考える親の会「星の会」代表　加嶋　文哉さん（58）

「星の会」主催のシンポジウムで講演する加嶋代表。視線は常に親や子どもの目線だ

不登校の子どもの親たちが思いを語り合う「星の会」の設立当初から代表を務め、24年目になる。「親同士でしか分かり合えないことがあり、それを話すことが最も落ち着く。親が落ち着くと、やがて子どもが安心するんですよね」

会が発足し、初めての例会を開いたのは1994年10月。教諭仲間の知人が、不登校の子どもの親から「同じ立場の親と会って話がしたい…」と相談を受けたのがきっかけだった。当時、親の会は九州には福岡だけ。「佐伯にも作ろう」。当時、佐伯市の小学校で教諭をしており、大分大学で「登校拒否」をテーマにした半年間の研修を終えたばかりの自分に声が掛かった。同じ職場の養護教諭も加わり、親2人と計5人で会の活動が始まった。

関心は高かった。口コミで市外からも参加者が集まるようになり、例会はより広い会場に変更せざるを得ないほど盛況になった。「話す場に意味があるんだな」と強く感じた。市外からの参加者は、それぞれの地元で親の会を立ち上げていった。96年からは津久見市でも例会が始まった。

◆

同じ頃、小3だった息子が学校に行けなくなった。当事者として、家にいるわが子を目の当たりにしたとき、例会で「子どもの気持ちを受け止め、待ってあげて」と話してきたことが、現実とずれていると気付いた。「待てと言っても、親は待てない。現実はそう簡単じゃないと気付き、はまった教育相談のようになってしまっていた。「聞くこと」が大事だ」。もう一度、原点に返った。

◆

例会の参加者はまた増え始めた。「子どもに一緒に死のうと言った」などと、ため込みがちな感情を話してくれる親も増えてきた。「星の会しかできない例会になってきた」と手応えを感じた。

2004年、大分市で例会を始めた。体調を崩して06年に佐伯市の例会は閉じたが、10年に別府市、12年に豊後大野市、15年には由布市でも活動が始まった。活動の幅を広げようと14年には教諭を退職。今や会員数は247人。各地で毎月1回開く例会は、800回超を数える。延べ5千～6千人が悩みや不安を語り合い、心に寄り添い合い、安らぎを得られる場となっている。

その実績から、16年に内閣府特命大臣表彰が贈られた。ただ国内を見渡せば、親の会は立ち上がってもノウハウがなく活動が続かないなど「苦戦している」と感じている。「活動を理論化して全国に広げ、親の会を励ましたい。不登校の悩みの、とても有効な支援の受け皿なんだから」。親たちの心の伴走者として、決意は固い。

「星の会」の入会問い合わせなどは加嶋さん＝080（2717）9392。

（森亮輔）

＊連載中の「生命（いのち）の力が輝く時」は紙面の都合でお休みします。

大分県SCの会で講演しました

四月六日（金）に大分県教育会館のホールで開かれた「第一回大分県スクールカウンセラー連絡協議会」で講演をしました。この会には、全県のスクールカウンセラー、配置校の管理職、市町村教育委員会のSC担当者等々三〇〇名を超える方が出席されていました。

演題は「教育機会確保法と不登校支援」～社会的自立のためには何が必要か～です。不登校の子どもが社会的自立の道を歩む際に、家が居場所となるかどうかはとても重要です。そのためには傍に居る親を孤立させないことが大切であることを一生懸命に伝えました。

通常は、こうした会には大学教員や精神科医や臨床心理士等の方々が講師として招かれると思います。加嶋は何の資格も専門的知識もない「一つの親の会の世話人」に過ぎません。こうした機会を与えていただいた学校安全・安心支援課に感謝すると同時に、「民間の団体とも連携をしていく」という前向きな姿勢を感じました。

（文責・加嶋文哉）

枝次竜明君のコンサートに行きませんか

（大分合同新聞の４月25日付けでも紹介されました）

竜明君は、小学校と中学校の時代を不登校や行きしぶりをして過ごしました。そのおかげ？でか、さまざまな好きなことに出会いました。中学生の時は、トランペットが好きになり、数年前に星の会で「ななみさん」を呼んだ時に、オープニングで演奏しました。そんな彼が、高校生活を送りながら腕を磨き、県内外でプロ級の演奏をしています。

竜明君のジャズ演奏を聴きながら、「好きなことを見つけて夢中になることができる」人生のすばらしさを感じてみませんか。

アペロコンサート

日時：５月19日（土）15:30～16:30
場所：ブリック・ブロック
　　大分市生石5-7-5（西大分港近く）
入場：無料
出演：枝次竜明トリオ fert. 近藤大海
問い合わせ：ブリックブロック
　　097-536-4852
　　または枝次（090-7928-2195）

おねがい

原稿をお寄せ下さい

●感想・体験　●伝えたい情報
●その他不登校に関すること
＜メール＞toiawase@hoshinokai.net
＜FAX＞　097－576－9489

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・イニシャルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

ご寄付のお願い

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかして下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

＜口座記号番号＞　01710-8-142651
＜加入者名＞　不登校を考える星の会

6月の例会予定

○昼の大分例会…6月2日（土）13:00～16:30
○別　府　例　会…6月2日（土）19:00～21:00
○豊後大野例会…6月14日（木）19:00～21:30
○津 久 見 例 会…6月8日（金）19:30～22:00
○夜の大分例会…6月15日（金）19:00～21:30
○アンダンテ星の会…6月24日（日）10:00～12:30
○湯 布 院 例 会…6月28日（木）19:30～21:30

会報発送作業

■日時：5月24日（木）14：00～
■場所：明治明野公民館和室
■お尋ねは河野さん
（080-5272-9360）まで

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。